

PNA4702M

増幅機能付きシリコンフォトダイオード

赤外線リモコン用

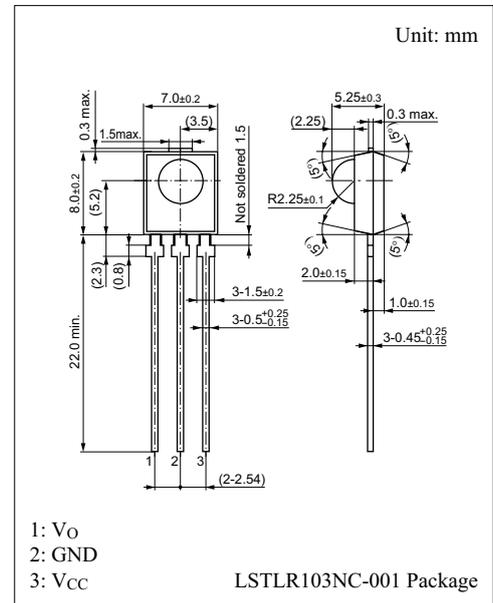
■ 特長

- 中心周波数 f_0 : 38 kHz
- 動作電源電圧 V_{CC} : 3.3 V (typ.)
- 可視光カット樹脂の採用

■ 絶対最大定格 $T_a = 25^\circ\text{C}$

項目	記号	定格	単位
動作電源電圧	V_{CC}	-0.5 ~ +5	V
許容損失	P_D	200	mW
動作周囲温度	T_{opr}	-15 ~ +70	$^\circ\text{C}$
保存温度	T_{stg}	-40 ~ +100	$^\circ\text{C}$
はんだ付け温度*	T_{sol}	260	$^\circ\text{C}$

注) * : 5s以内



■ 電気的特性 $T_a = 25^\circ\text{C} \pm 3^\circ\text{C}$, $V_{CC} = 3.3\text{ V}$

項目	記号	条件	最小	標準	最大	単位
動作電源電圧	V_{CC}		2.7	3.3	3.6	V
出力電圧ローレベル*2	V_{OL}	$L \leq 7\text{ m}$, $I_{OL} = 400\ \mu\text{A}$	—	0.1	0.3	V
出力電圧ハイレベル	V_{OH}	遮光状態	3.1	3.3	V_{CC}	V
供給電流	I_{CC}		0.6	0.8	1.0	mA
最大受信距離*1	L_{max}		7.0	—	—	m
パルス幅ローレベル*1	T_{WL}	$L = 0.1\text{ m} \sim 7\text{ m}$, 16 pulse	200	400	600	μs
パルス幅ハイレベル*1	T_{WH}					
中心周波数	f_0		—	38.0	—	kHz

注) 1. 測定方法は、日本工業規格 JIS C 7031 ダイオード測定方法によります。

2. *1 : 図1のバースト波

*2 : 図2の連続波

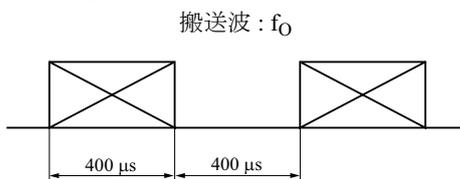


図 1

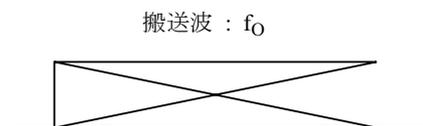
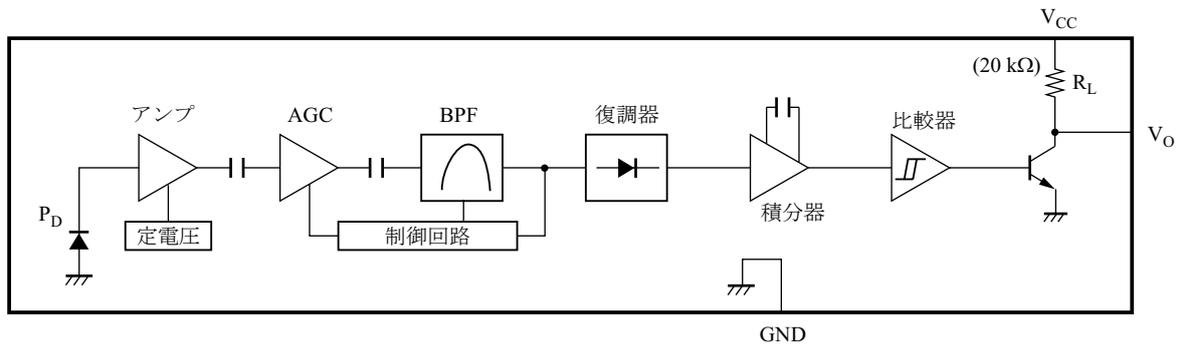
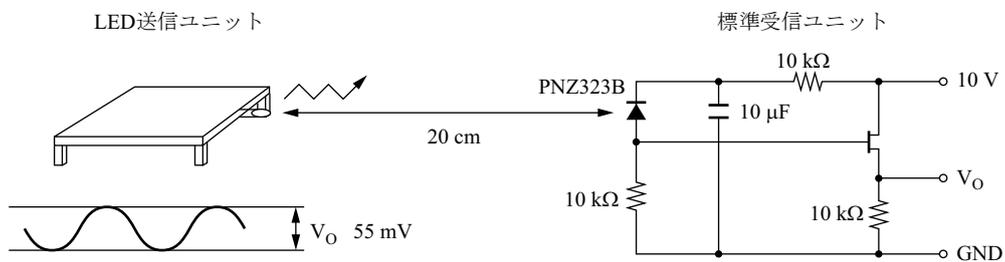


図 2

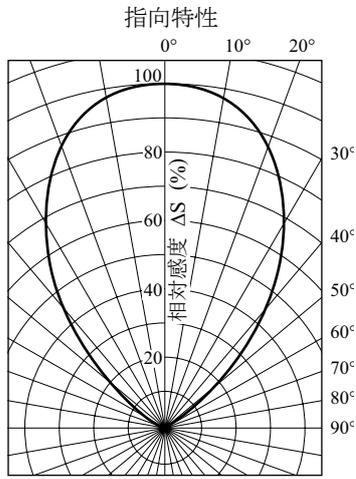
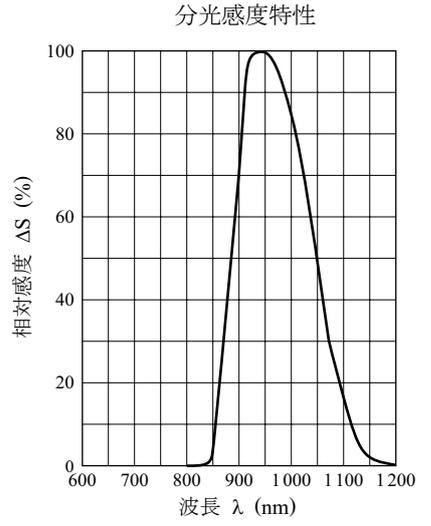
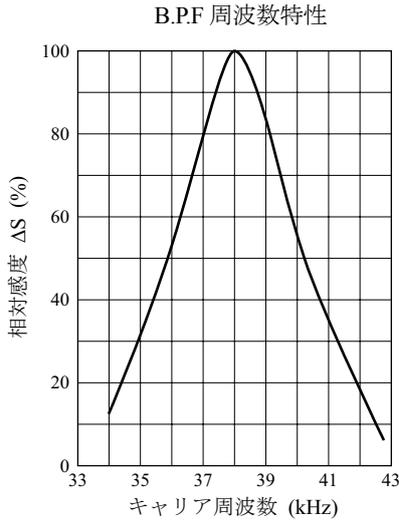
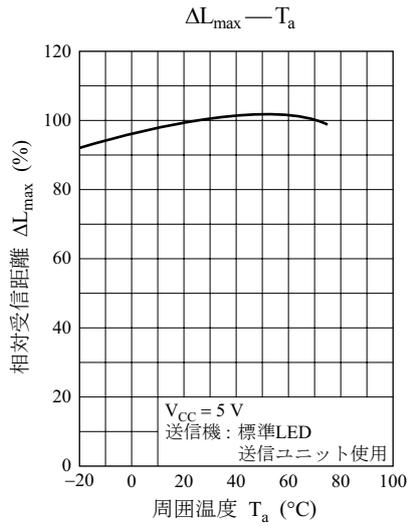
■ ブロック図



■ 弊社送信機の規程について



1. LED送信ユニットの光出力は、送信波形 (duty = 50%) をLED送信ユニットから出力させたとき、標準受信ユニットの送信出力 (V_O) が 55 mV になるよう調整します。
 ただし、PNZ323BはH (放射照度) = 12.45 mW/cm² 時のSIR (赤外光感度) = 0.53 mA の製品とします。
2. 本仕様における最大受信距離は、上記送信ユニットにおいて最大受信距離に相当する光出力で連続16パルスを送信したとき、製品の T_{WH} , T_{WL} が許容値内にあることを保証するものです。
 (最大受信距離は、暗状態および外乱ノイズのない状態で測定されます。)



本資料に記載の技術情報および半導体のご使用にあたってのお願いと注意事項

- (1) 本資料に記載の製品および技術情報のうちで、「外国為替及び外国貿易法」に該当するものを輸出する時、または、国外に持ち出す時は、日本政府の許可が必要です。
- (2) 本資料に記載の技術情報は製品の代表特性および応用回路例などを示したものであり、弊社もしくは第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を意味するものではありません。
- (3) 上記技術情報のご使用に起因して第三者所有の権利にかかわる問題が発生した場合、当社はその責を負うものではありません。
- (4) 本資料に記載されている製品は、標準用途 — 一般電子機器(事務機器、通信機器、計測機器、家電製品など)に使用されることを意図しております。
特別な品質、信頼性が要求され、その故障や誤動作が直接人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある用途 — 特定用途(航空・宇宙用、交通機器、燃焼機器、生命維持装置、安全装置など)にご使用をお考えのお客様および当社が意図した標準用途以外にご使用をお考えのお客様は、事前に弊社営業窓口までご相談願います。
- (5) 本資料に記載しております製品および製品仕様は、改良などのために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。したがって、最終的な設計、ご購入、ご使用に際しましては、事前に最新の製品規格書または仕様書をお求め願ひ、ご確認ください。
- (6) 設計に際して、特に最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性については保証範囲内でご使用いただきますようお願い致します。保証値を超えてご使用された場合、その後に発生した機器の欠陥については弊社として責任を負いません。
また、保証値内のご使用であっても、半導体製品について通常予測される故障発生率、故障モードをご考慮の上、弊社製品の動作が原因でご使用機器が人身事故、火災事故、社会的な損害などを生じさせない冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計などのシステム上の対策を講じて頂きますようお願い致します。
- (7) 防湿包装を必要とする製品につきましては、個々の仕様書取り交わしの折、取り決めた条件(保存期間、開封後の放置時間など)を守ってご使用ください。
- (8) 本資料の一部または全部を弊社の文書による承諾なしに、転載または複製することを堅くお断り致します。